

整理番号 2019M-011
補助事業名 2019年度 ICT社会における安心安全確保に関する補助事業
補助事業者名 一般社団法人日本教育情報化振興会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

教育現場のICT安全安心対策研究実施のため2つのWGを設け、「情報モラル指導充実のためのWG」「コミュニケーション力育成WG」を二本柱として活動する。

①情報モラル指導充実のためのWG

- ・ 専門家、有識者11名からなる委員会の設置
- ・ 教育委員会等の要望に添った情報モラルセミナーの開催、研修テキストの作成実施
- ・ 新学習指導要領に合わせた新規開発教材作成

②コミュニケーション力育成WG

- ・ 専門家、有識者9名からなる委員会の設置
- ・ コミュニケーション力育成のための研修は、次の3つの形式で開催する。
 - 全国2ヶ所（大阪・東京）において会場を選定し、委員3名程度を派遣しワークショップ形式で研修を開催（ただし、東京会場は新型コロナウイルスの爆発的流行の兆しのため開催中止）
 - 研修は大規模なイベント（関西教育ICT展・教育の情報化推進フォーラム）とタイアップして、近隣の教育委員会等から教員に招集をかけ参加を募集

(2) 実施内容

教育現場のICT安全安心対策検討委員会にそれぞれのワーキンググループ長を委員とした委員会を置き、そこに下記の2つのワーキンググループを設置し、それぞれの研究方法によりICTの安全安心活用について研究を実施している。

①「ネット社会の歩き方」情報モラルセミナー事業

(<https://www.japet.or.jp/ActivityReport/netwalk/>)

地域の指導的な立場の教員に対し情報モラルが指導できるよう指導者育成を実施。主に情報モラルやセキュリティに関するセミナーを実施できる指導者を養成している。その指導教材としてセミナーで使用した教材・情報を提供している。さらに、家庭等でも「情報モラル」が親子のコミュニケーションの題材となるような新たな事例への対応を盛り込んだコンテンツ情報等の提供を行っている。

ネット社会の歩き方教材

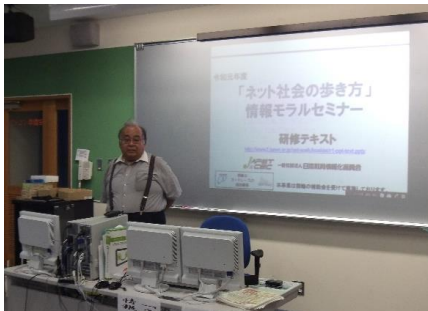
(<http://www2.japet.or.jp/net-walk/>)



以下は、情報モラルセミナー風景。



栃木県総合教育センター（2019年6月5日）



豊見城市教育委員会（2019年6月24日）



箕面市教育委員会（2019年9月11日）



八戸市総合教育センター（2019年10月3日）



雲仙市教育委員会（2019年11月28日）

②コミュニケーション力育成のための事業

(<https://www.japet.or.jp/ActivityReport/ict-skills/>)

子供同士でのコミュニケーション不足等が原因で起こるいじめを減らすために、集団の中で共に話し合い、学び合い、助け合うためのコミュニケーション力を育成し、その重要性を自覚させる。

そのために、これからの「ICT社会におけるコミュニケーション力の育成」を、学習活動の中にどのように取り込んでいくか、その取組を支援するセミナーを企画し、全国で実施した。今年度は、全国2地域（大阪、東京）で開催する予定であったが、残念ながら東京会場は、新型コロナウイルスの爆発的流行の兆しと政府からの要請もあり、開催を中止した。



関西教育ICT展(2019年8月1日)



関西教育ICT展(2019年8月2日)

2 予想される事業実施効果

昨今のスマートフォンや携帯のゲーム機、音楽プレイヤー、ウェアブル端末等の普及により、いつでもどこでもインターネットを利用できる環境が、子供達にまで急速に拡大した。この急激な変化により、児童・生徒がSNSや無料ゲームなどのコミュニティサイトで犯罪などに巻き込まれる事例も発生している。また、ネット上で子供達同士が誹謗中傷の発信を行うなど、コミュニケーション不足からのいじめが行われている。

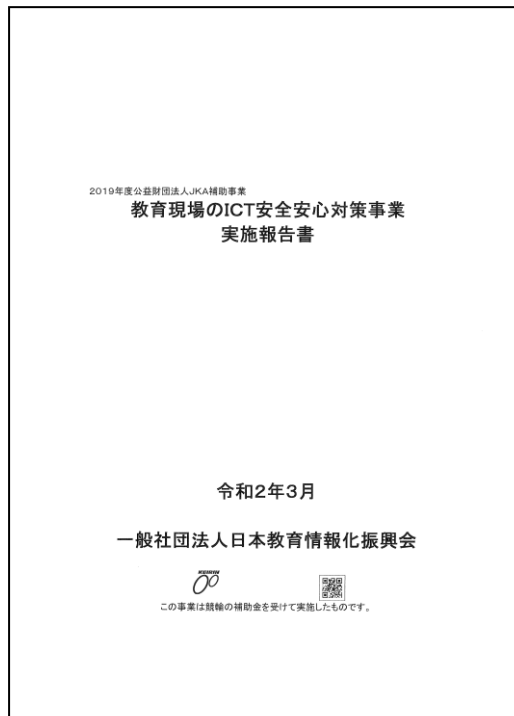
日本教育情報化振興会では、児童・生徒の安全安心を願い「教育現場のICT安全安心対策事業」を展開している、この活動は広く公開されているため、教育界だけではなく、保護者への啓発としても有効であり、地域、家庭での安心安全への意識を高めることができる。

3 補助事業に係る成果物

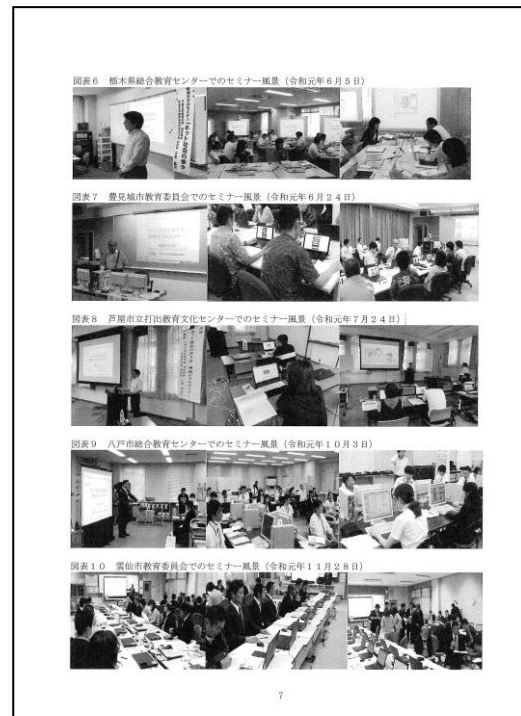
(1) 補助事業により作成したもの

①教育現場のICT安全安心対策事業実施報告書

(<https://www.japet.or.jp/ActivityReport/>)



表紙



情報モラルセミナーの様子 (P8)

②ネット社会の歩き方情報モラル教材

2019年度新規開発した教材概要は次の通り

(<http://www2.japet.or.jp/net-walk/>)

●新規学習ユニット10テーマ

アニメーションで様々な事象を確認しながら、情報モラルについて学習できるようになっている。

1) ゲームに熱くなりすぎると

<学習内容>

仲の良い友人と一緒にパーティーを組んでオンラインゲームで遊ぶとき、夢中になりすぎると、言葉遣いが悪くなったり、友人を責めたりすることで、けんかやいじめになってしまうことがあることを学ぶ。



2) 友達とつながっているのに・・・

<学習内容>

SNS を使用して生じる、つながり
孤独（依存）の危険性を知る。



3) これはイジメ？イジリ？

<学習内容>

ふざけたり、じゃれたりしている
状態を動画撮影し、ネットで一般の
目に触れる危険性を知る。



4) そのステータスメッセージは大丈夫？

<学習内容>

相手のことを名指さない悪口や
誹謗中傷であっても、それが相手を
深く傷つけ、場合によっては名誉
棄損となり損害賠償請求の対象と
なることを知る。



5) 「特定しました！」って正義ですか？

<学習内容>

ネット上の不適切な動画の投稿主
を特定し、ネット上に投稿主の個人
情報をさらす行為の是非について
考える。



6) 自画撮り写真に注意

<学習内容>

安易に自画撮り写真をネットに
投稿すると、写真は回収が不可能に
なり、被害を受けるだけでなく、
加害者にもなってしまうことを学ぶ。



7) してないつもりでながらスマホ？

<学習内容>

ながらスマホにより、注意が散漫になってしまう状況では危険性がまし、いつ事故につながるかわからない事を学ぶ。



8) ニセモノのアクセスポイント

<学習内容>

街中に見かけられる公衆無線LANのアクセスポイントの中には、正規のものに成りすました偽物も存在する。その危険性を知り、被害を最小限にする方法を身につける。



9) スマホの約束

<学習内容>

スマホのより良い使い方を考える姿勢の育成し、安全・安心に使う方法を学ぶ。



10) ペアレンタルコントロール

<学習内容>

ペアレンタルコントロールについて理解を深める



●子どもが主体的に学ぶ情報との向き合い方に関する図鑑型教材

<目次>

1. 記録メディア, 通信・放送, コンピュータの歴史
2. コミュニケーションの仕組み…だから思ったように伝わらない!
3. 情報・コミュニケーションに関わる3つの特性
 - 1). メディアが持つ特性
 - 2). 情報自体が持つ特性
 - 3). 人間自体が持つ特性
4. インターネットの仕組みと注意点
5. Webサイトとセキュリティ
6. 使う時には「私は私」という証明が必要?
7. 多様なSNS・ネットサービスと上手な付き合い方
8. 氾濫するネット社会の悪意
9. 芽生える善意と 好ましいネット社会の構築



●ローカルサーバを使った体験型ツール（SNS等）

ここでは、安全な環境で、TINE(LINE)、Kwitter(Twitter)、Enstagram(Instagram)、LikLok (TikTok) といった4種類のSNSにこける様々なトラブルを体験できる。



③コミュニケーション育成教材（情報活用能力育成の調査研究）

2019年度新規開発した教材概要は次の通り

[\(https://www.japet.or.jp/ActivityReport/ict-skills/\)](https://www.japet.or.jp/ActivityReport/ict-skills/)

●情報活用能力育成をテーマとした模擬授業の実践および動画コンテンツ制作

第4回関西教育ICT展セミナー内で実施した模擬授業を動画コンテンツとして制作。

1. 小学校第五学年 国語 単元：すいせんします

授業者：山口真希先生（放送大学大学院・前金沢市立大徳小学校教員）

コメンテーター：小林祐紀先生（茨城大学 准教授）

10分間の概要編ショートバージョン

40分間の全体編ロングバージョン

2. 中学校第三学年 理科 単元：太陽と恒星の動き～

授業者：岩崎有朋先生（鳥取県岩美町立岩美中学校）

コメンテーター：佐藤幸江先生（金座星稜大学非常勤講師）

10分間の概要編ショートバージョン

60分間の全体編ロングバージョン

●情報活用能力育成指導指標

新学習指導要領の中から、各教科ごとの情報活用能力に関するキーワードを委員会で検討したルールに沿って洗い出し、以下の各教科ごとの指導指標(情報活用能力ペーシツク)を作成。

- 1)総則 2)国語 3)社会 4)算数 5)理科 6)生活科 7)音楽 8)図工 9)家庭
10)体育 11)外国語 12)道徳 13)特別活動

- (2)(1)以外で当事業において作成したもの
特になし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人日本教育情報化振興会

(イッパンシャダンホウジンニホンキョウイクジョウホウカシンコウカイ)

住所： 〒107-0052

東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル 8階

代表者： 会長 赤堀 侃司 (アカホリ カンジ)

担当部署： 調査・研究開発部 (チョウサケンキュウカイハツブ)

担当者名： 部長 吉田 真和 (ヨシダ マサカズ)

電話番号： 03-5575-5365

F A X : 03-5575-5366

E-mail : myoshida@japet.or.jp

U R L : <https://www.japet.or.jp/>